藤蔭 甲子園へ

▽決勝

柳ヶ浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤蔭	0	0	0	0	0	1	0	0	×

28年ぶり2回目の優勝を果たし喜ぶ藤蔭ナイン＝25日、別大興産スタジアム、撮影・椎原新二

柳ヶ浦破り 28年ぶり

藤蔭が甲子園へ―。第100回全国高校野球選手権大分大会最終日は25日、別大興産スタジアムで決勝があった。藤蔭が1―0で柳ケ浦を破って頂点に立ち、28年ぶり2回目の夏切符を手にした。県代表を決める決勝は、柳ケ浦の中園と上間、藤蔭の市川が力投を続け、無得点のまま後半勝負に入った。

藤蔭は六回、先頭橋本の左前打を足掛かりに、内田の犠打、御手洗の内野安打と盗塁で1死二、三塁とした。ここで4番の奥園が右犠飛を放ち、三走の橋本が生還して均衡を破った。

その後は、追加点を奪えなかったが、エース市川が最後まで力投を続けた。九回の反撃も抑え、完封で優勝に花を添えた。

夏の甲子園は8月5日に開幕する。今夏は記念大会で、例年より7校多い56代表が出場する。抽選会は同2日にある。

大分合同新聞

創刊1886年(明治19年)
大分合同新聞社
〒870-8605 大分市府内町3-9-15
◎大分合同新聞社 2018
ニュースのご通報などは
大分☎097-536-2121
FAX097-538-9674
別府☎0977-22-2121
FAX0977-25-1230

朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、統合版はありません。

号外

詳しくは本紙とホームページで

Gate ゲート

購読お申し込みは
フリーダイヤル 合同ミナヨム
0120-510-374
または、お近くのプレスセンター(販売店)